

祖母山系 サマン谷 沢登 山行報告書

日程：令和5年(2023年)6月24日

参加者：土橋・中山・岡村繁雄 他1名

久しぶりの祖母山 尾平。

駐車場は、すっかり変わり、駐車料500円の投函箱が設置されていた。

登山口から川上溪谷に入り、宮原へのつり橋をくぐって少し歩いて入溪。



天狗岩と烏帽子岩を望むと祖母山に来たなと実感



宮原へのつり橋の下を通過



手前 奥岳川 正面がサマン谷の入溪地点



フレークがガッチリきいて、比較的簡単なクライミング

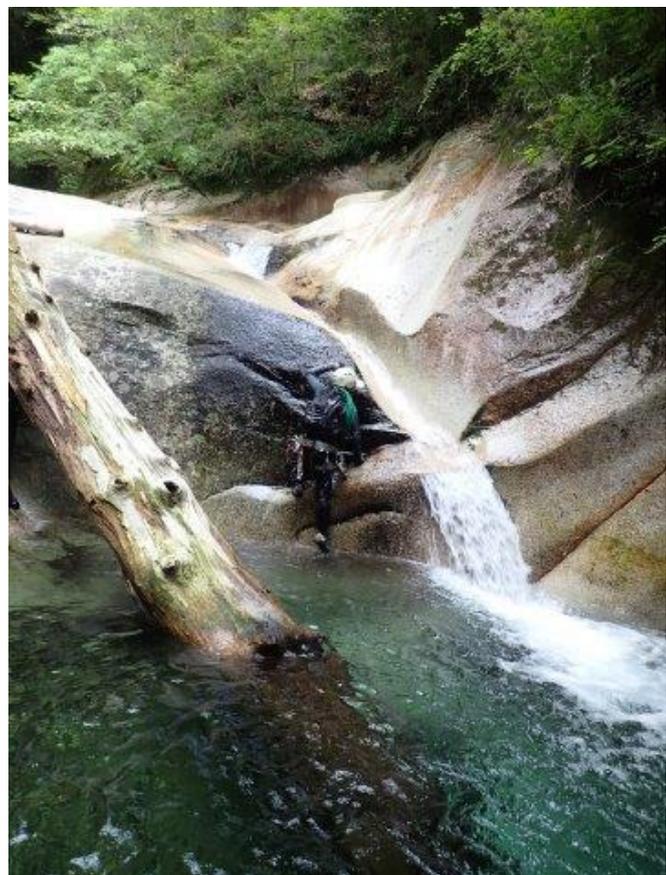




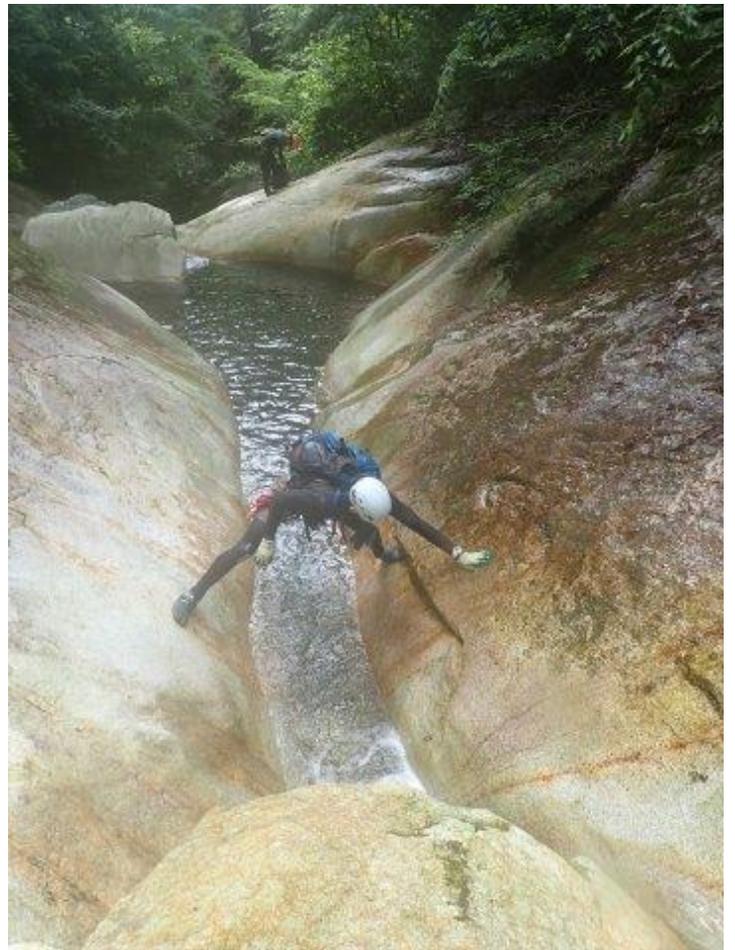
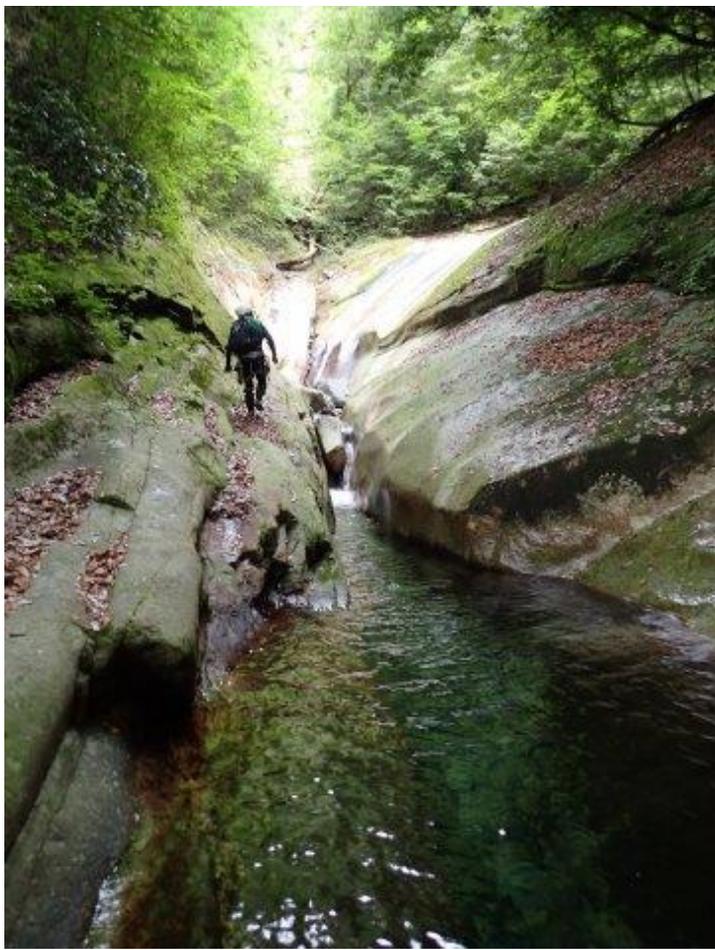
次のメンバーが、上がってくる間にスベリ台で楽しむ



思い思いにスラブを登る



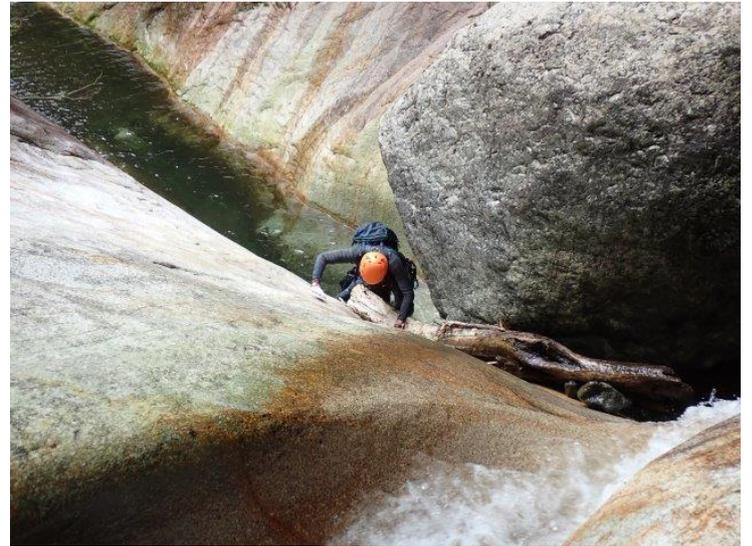
きれいな沢で、落ちててもけがをする心配はほとんどないため、各自沢登を楽しみながら進む。



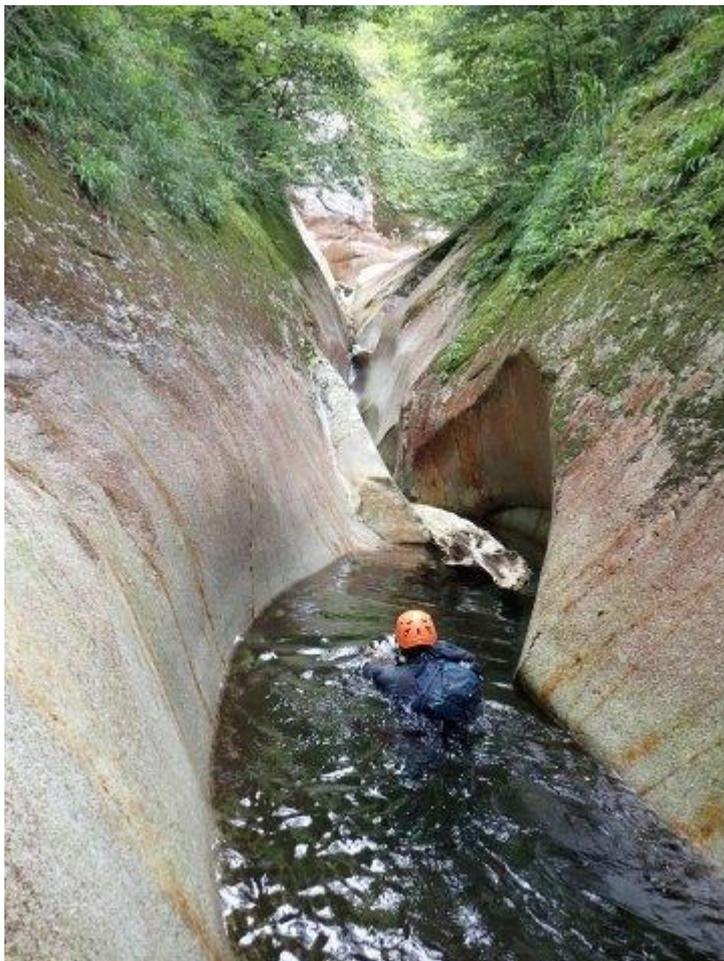
チェックストーンが現れる



右側を乗り越える



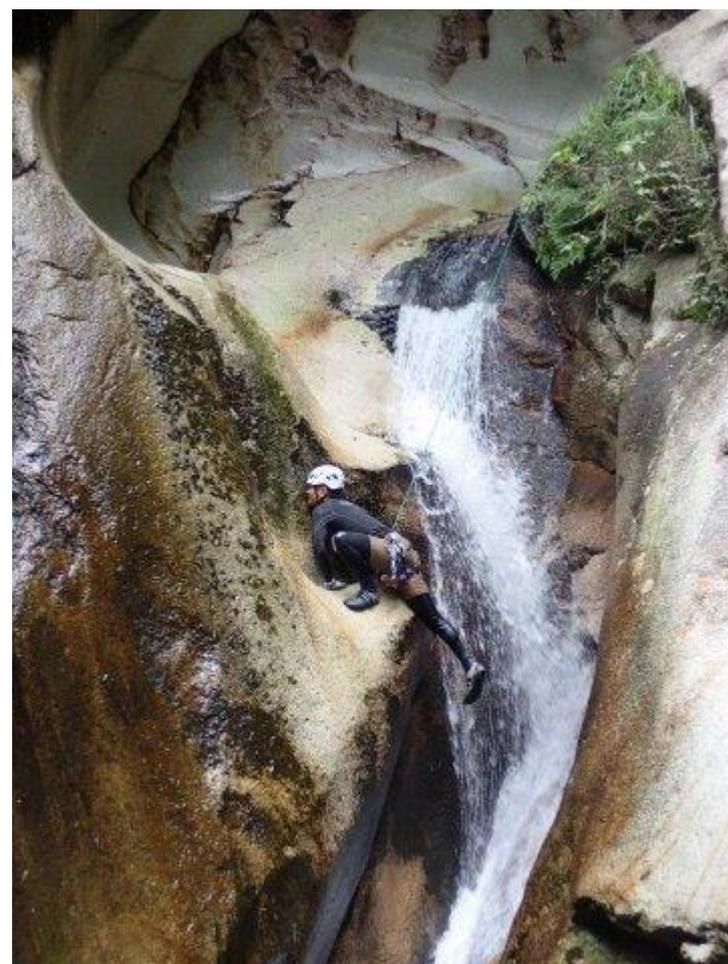
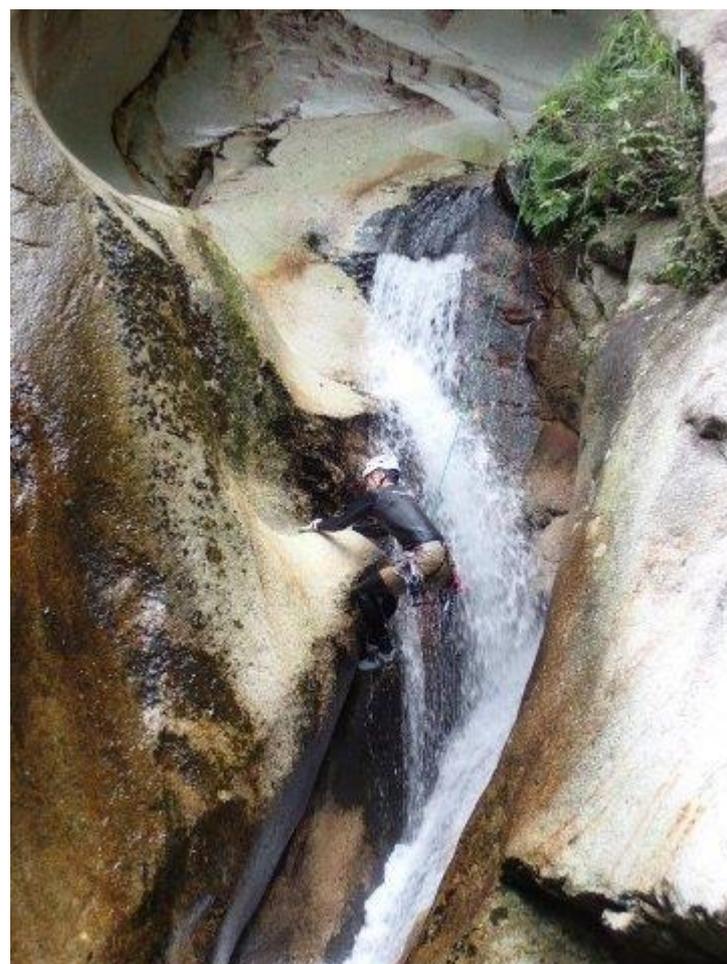
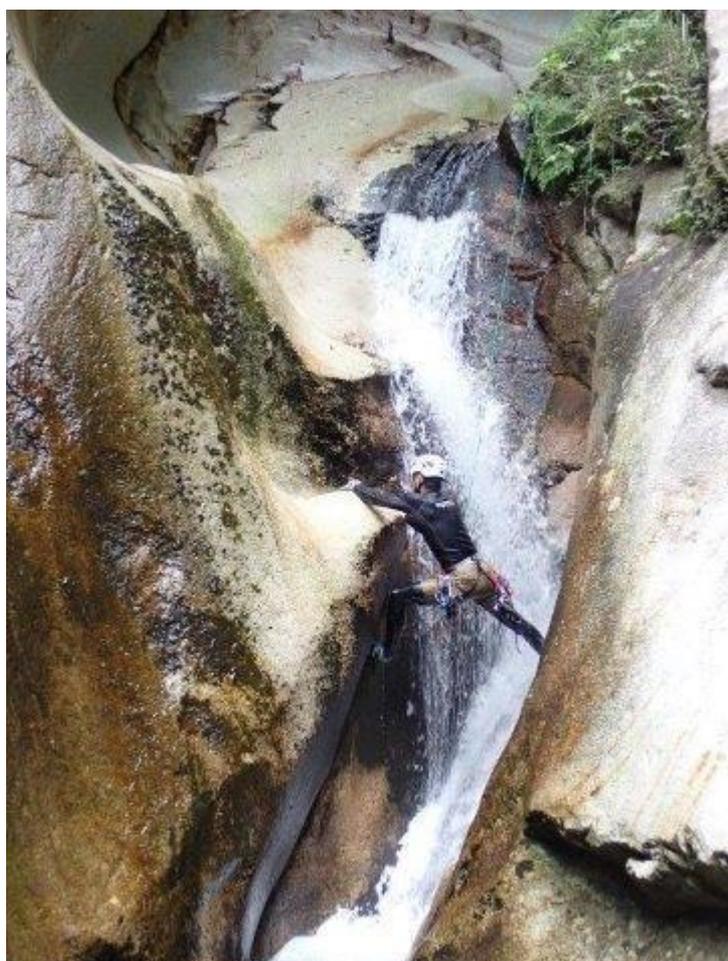
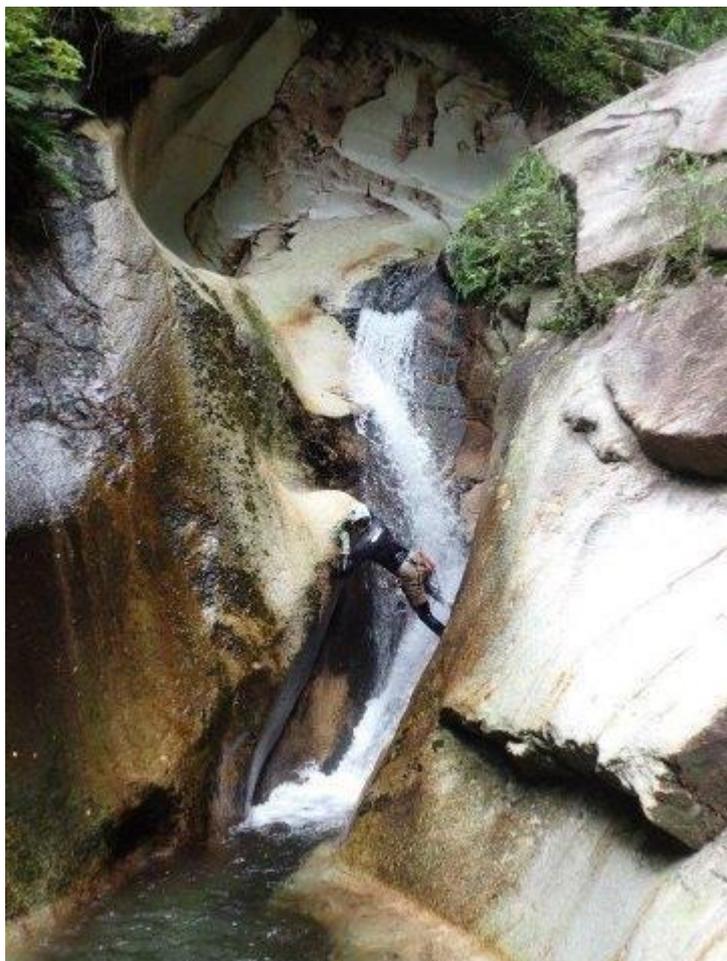
チェックストーンの上から撮影

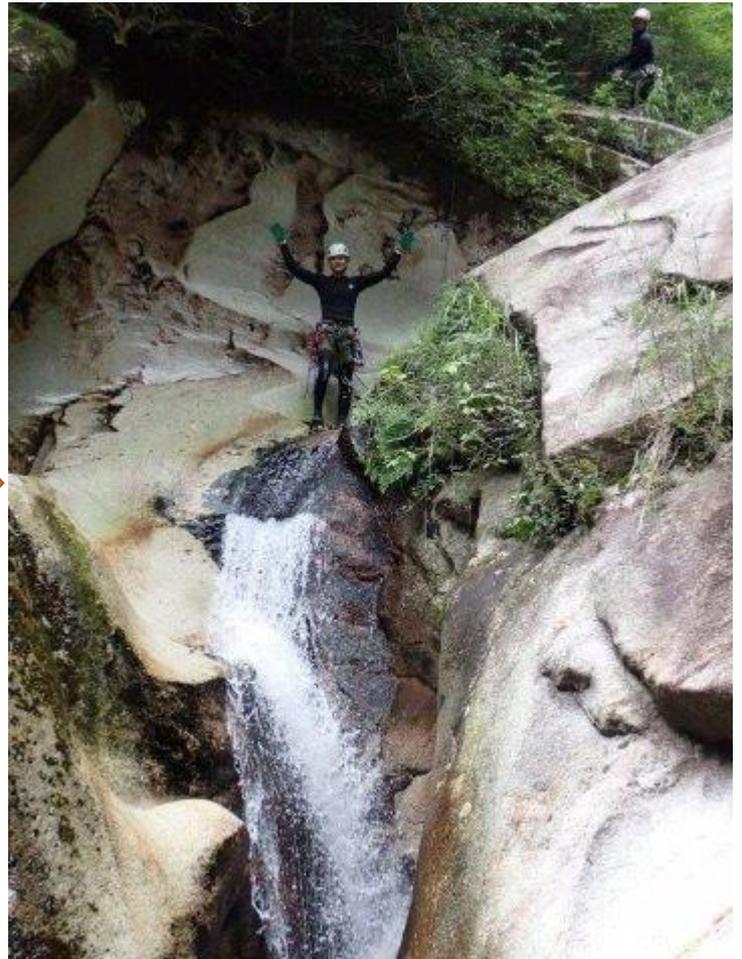
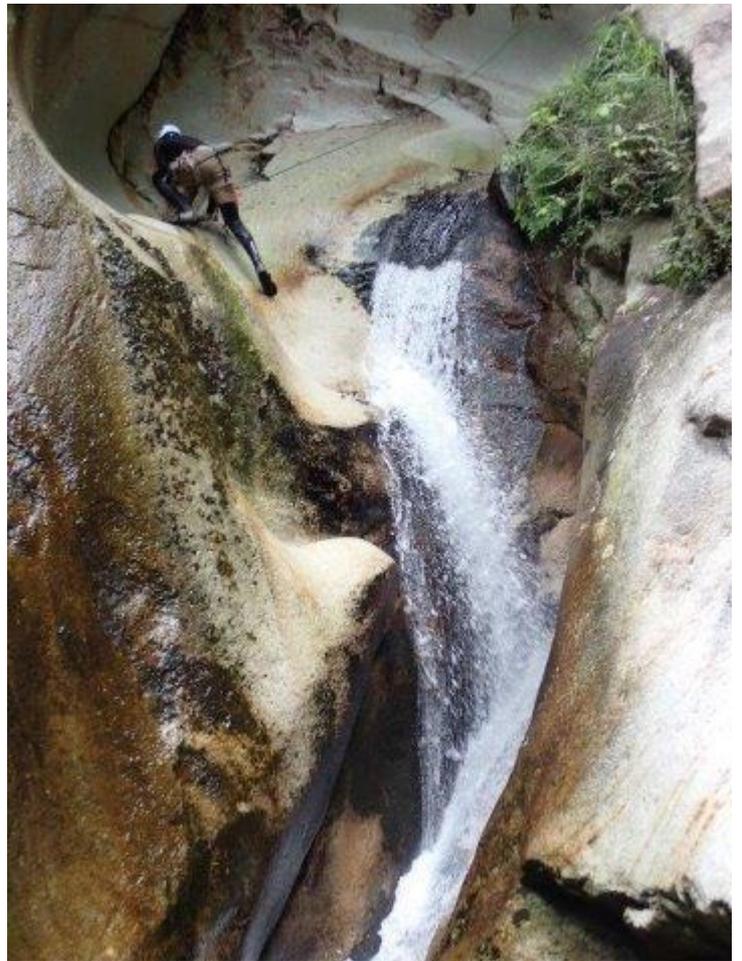


狭いゴルジュを快適に進む



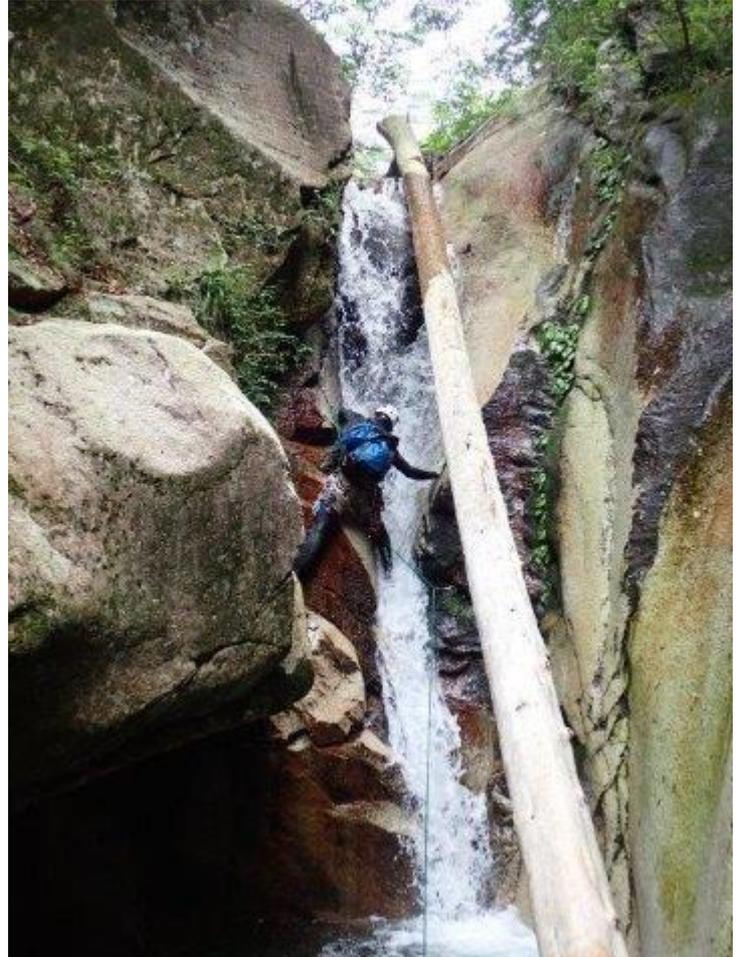
トプロープで、微妙なバランスでトライ







下の岩の裏にシュリングがあり、小柄な中山さんは、アブミを使用して突破



この滝を過ぎて少し行くと砂防堤である



砂防堤を右に回り込み少し歩くと林道に出る



林道からつり橋まで約30分で下山



そろそろ沢も終了、この先に砂防堤がある



入溪から林道迄、ゆっくり楽しみながら約3時間行程。

砂防堤から少し登ると林道に出て、林道経由30分でつり橋まで下山できる。

ショートコースではあるが、祖母山系のいいところ取りしたような沢で、変化にとんだ沢登りを満喫することができた。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura